

# 被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成29年11月

- ①氏名 ②派遣元団体（出身地）  
③所属課（業務内容）④派遣期間 ⑤自己紹介

## 飯 館 村

①稲場 勝（いなば まさる）

②神奈川県

③建設課（土木係：帰還再生生活道路整備昇口舗装）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤東日本大震災で被災した国土山河は心を痛める出来事です。復興に貢献したと思い宮城県の津波被災地に続き、福島県HP等で原発事故被災地の状況を知り飯館村に勤務しています。

春、阿武隈高原の庭先に咲く水芭蕉の美しい姿に驚きました。夏、涼しくすごしやすいです。秋、冬が楽しみです。（役場の標高488.7m）

生活道路整備事業（昇口舗装）でより良い生活に戻り、村民の方に役に立つよう努めてまいります。



## 浪江町

①細川 聡（ほそかわ あきら）

②神奈川県

③住宅水道課（町営住宅管理等）

④平成28年4月3日～平成30年3月31日

⑤浪江町に赴任する前に岩手県の2つの自治体で復興のお手伝いを3年間させていただき、岩手での経験を多少なりとも生かせるのではと思い、福島に来ました。

3年足らずの復興支援の経験ではどうにもならないことも多々ありますが、福島県浜通りの環境のすばらしさと浪江町の職員の方々の温かいサポートでなんとかがんばっています。



①山中 雅仁（やまなか まさひと）

②神奈川県（高知県安芸市）

③まちづくり整備課（建設係）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤千年に1度の未曾有災害に際し、土木技術者としての責務があると思い、被災地にきています。

今担当しているのは、浪江町役場の工事の設計積算です。

過酷な現場でがんばっていただいている工事作業員さんといっしょに、1人でも多くの方が安心して帰還できるよう、安全な道路をしっかりと復旧します。

役場で一番真っ黒で元気な職員がぼくです。

見かけたら、なんでもご相談ください。



①川上 克己 (かわかみ かつみ)

②神奈川県

③産業振興課 (農政係：加速化交付金計画等)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤<派遣の動機>数年前から東北の被災地復興業務に関わっており、将来的には福島の復興にと思っておりました。

<福島県の印象>思っていたより東京・千葉から近い。

<派遣先職場の雰囲気>この先数年間は相当な仕事量が見込まれます。より多くの人材が必要です。

<福島県でやってみたいこと>雪景色の露天風呂

<福島県で感じたこと気付いたこと>風評被害もありますが、もっと自信を持って踏み出してよいと思います。また、外に立って、福島を見る機会を増やした方がよいと思います。

## 川 俣 町

①渡邊 直子 (わたなべ なおこ)

②東京都江東区

③産業課 (移住交流事業、観光 PR 関連)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤当たり前で電気のある生活をしてきた私。その電気のために大変な思いをした福島。何もできないけれど福島のことを気がかりでした。

江東区と縁のある川俣町に派遣となりましたが、想像していた以上に力不足を感じています。一方で、町の魅力を探ろうと「ぼっち飲み」を楽しみ、時には他の応援職員たちとも町内の酒と肴を堪能しています。

これからも様々な出会いを大切に、僅かでも足跡を残せるよう精進したいと思います。

①長瀬 隼将 (ながせ はやまさ)

②愛知県日進市

③原子力災害対策課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤愛知県の名古屋市と豊田市に挟まれた緑豊かな町、日進市から参りました。世界中どこを探してもない仕事がここにはあり、その仕事に誇りを持って働きたいという動機でやってまいりましたが、プライベートを思いっきり満喫しており、三春の滝桜、ドリフトレース観戦、会津歴史観光、野馬追い祭り、温泉など福島県を堪能しています。

毎週東北観光を実行し、福島県を余すことなくしゃぶり尽くす所存です。



## 新地町

①今野 得郎 (このの とくろう)

②福島県 (秋田県大仏市)

③建設課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤20代に伊達市、田村市で約5年間、土木工事に従事したので福島県には親しみを持っていました。

都庁での3県合同説明会で新地町のブースを訪れたのがご縁です。浜通りの北端の町ですが、気候温暖なので秋田生まれの私は、大変気に入っています。職場の皆さんも親切で、何でも相談に乗っていただいております。

復興支援の即戦力として貢献出来るように業務に励んで参りたいと思っております。



## 双葉町



①南保 真也（なんぼ しんや）

②富山県黒部市

③秘書広報課（ホームページ作成・タブレット端末の管理運営）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤勤務先のいわき市は非常に穏やかな気候で雪も降らないと聞いており、地元の黒部市とは大違いです。

職場の皆さまにも恵まれ、野球や飲み会などに参加し親睦を深めております。

特に野球では自治労野球大会に選手として出場しピッチャーを務めました。

福島県は広いのでこの派遣期間の間で色々なところに行きたいです。

①柴田 悠平（しばた ゆうへい）

②福井県敦賀市

③教育総務課（生涯学習）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤この度の派遣で初めて福島県に来ることが出来ました。

最初は、知らない土地での一人暮らしということで不安な気持ちでいっぱいでしたが、職場の皆さんや地域の皆さんの温かさでそんな気持ちはすぐに飛んでいきました。

福島県のいろいろなことを学び、良いところをたくさん伝えていきたいと思っています。

知らないことばかりですので、良いところをたくさん教えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。



## いわき市

①吉野 直樹（よしの なおき）

②長崎県長崎市

③生活環境部生活排水対策室下水道事業課  
（下水管の更生、雨水管新設工事の施工など）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤6年前の震災後、自分にも何か復旧復興のお手伝いができないかと思い派遣を希望していました。

実際に来て、福島の復興状況を詳しく知ることができ、長崎にも時々情報を提供しています。

職場は、若い人が多く活気があり、楽しく仕事をさせてもらっています。

長崎以外に住んだことがない私にとって、いわきはとても涼しく、生まれて初めて快適な夏を過ごしています。

残りの期間、福島県のおいしいお酒を堪能しつつ、仕事を一生懸命頑張ります！



①沖田 毅瑠（おきた たける）

②千葉県船橋市

③土木部土木課（復興公営住宅に関わる道路改良工事）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤いわき市へは、平成23年度から船橋市職員が派遣されており、被災と復興の状況報告を聞く中で、微力ながらも何か役に立てればと思い志望しました。

初めての派遣業務、初めての東北生活、初めての一人暮らしという状況の中で、地元の方々にご助力いただき、日々業務と格闘しています。

職場は若い職員が多く、とても明るく活気に溢れているので、仕事に対するモチベーションが上がります。

いわき市ではイベントが数多く催されているので、積極的に参加をして、「福島県いわき市とはどのような地域か」、というものを体感したいと思っています。



①奥田 仁郎（おくだ よしろう）

②福島県（愛知県名古屋市）

③生活環境部除染対策課（除染業務）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤いわき市でお世話になって2年目となり、仕事も生活もいろいろありますが、それなりに順調で、周囲の皆さんには心より感謝しております。

職場で夏季にアロハシャツを着用していますが、快適で、大変お気に入り。

最近、市内のラーメン店巡りに凝っており、20店ほど回りました。

味の濃淡、だしの種類、麺の太さ、トッピングなど味はいくらでもあり、奥深さを楽しみながらラーメンを活力源にして、いわき市で頑張っています。



①佐藤 さち子（さとう さちこ）

②福島県（宮城県仙台市）

③土木部住宅営繕課

④平成28年1月1日～平成29年12月31日

⑤私は、東日本大震災による宮城県の災害復興状況と比べ、福島第一原発の人為的事故の影響により福島県の復興が、大幅に遅れているのを感じ、福島県のために役立ちたいと思い、いわき市にきました。

いわき市は、海流の関係で気候が1年中温暖で大変過ごしやすい地域です。また自然の恵みも豊富な土地でありながら、風評被害等で不当な評価を受けていることが非常に残念に思っています。



①秋田谷 俊希 (あきたや としき)

②愛知県豊橋市

③土木部土木課

④平成28年4月1日～平成30年3月31日

⑤いずれ来るであろうといわれ続けている南海トラフ地震の際に、少しでも役に立てるように知識を蓄えること、震災復興へ少しでも助力になりたい、という2つの思いで志願しました。最初のころはどこまでできるのか不安がありました。工事等で出会う方々に、「応援に来てくれてありがとう」と、一言をもらうたびに元気を頂き頑張ることができました。

短い派遣期間でしたが、地元へ戻っても、またいわき市へ訪れ、故郷を懐かしむように散歩したいと思います。

気持ちよく送り出してくれた方々と、快く受け入れてくれた方々に、そして共に苦労を分かち合った他の応援職員に感謝しつつ残りの任期を全うしたいと思います。



## 相馬市

①姫野 泰希 (ひめの たいき)

②広島県広島市

③保健センター (健康増進係)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤初めて東北の地を踏み、数か月が経ちましたが、未だに肌寒さを感じる一方、中通り地方は30℃を超える気温と聞き、福島県の広大さを感じております。

現在、保健センターで勤務し、保健師の方々をお手伝いさせてもらっています。保健衛生は生活に直結しており、その最前線にいる保健師の方々から、日々勉強をさせていただく毎日です。微力ではありますが、少しでも復興の役に立てればと思います。



①久保 裕太郎（くぼ ゆうたろう）

②静岡県裾野市

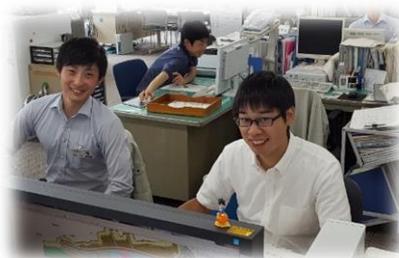
③建設部都市整備課（災害危険区域買取）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤震災復興のために自分でもできることがあれば力になりたいと思い、派遣に志願しました。

慣れない土地で1年間仕事をするについて、最初のうちは不安もありましたが、市民の方は親切で、職場の雰囲気も和やかで、快適な環境で公私ともに充実した日々を過ごせています。

幼いころ祖母の実家がいわき市にあり、遊んだ微かな記憶があります。1度その周辺に行ってみたいと思っています。



①横田 敏（よこた さとし）

②岡山県総社市

③産業部農林水産課（農業振興係：農業振興等）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤派遣元では4年間国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療の業務を担当していました。平成29年度から相馬市に派遣され、今まで経験をしたことがない農業振興の業務を担当することになりました。福島県に来て、岡山県よりも涼しく気候の面で大変過ごしやすかったです。

日々勉強しながら1日でも早く相馬市の復興に貢献できるよう、スキルアップしたいです。



①北村 彰英 (きたむら あきひで)

②愛媛県西条市

③建設部土木課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤震災から6年、災害復興支援が私にもできればという気持ちを持ち、相馬市に来ましたが、実際にできることはとても小さく情けなく感じていました。そういった中、相馬市の皆さんからは大変親切にさせていただき、不安もなく精神的にも支えられ、仕事面では情報を共有し、多くを知り、新たな知識を得ることができ、勉強させていただいていると感じています。

この1年間、学びながら、復興支援の一助になれるよう頑張りたいと思います。



①栗山 幸一 (くりやま こういち)

②茨城県龍ケ崎市

③建設部都市整備課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤相馬市に応援職員として2年目になります。就任当初は震災から5年目を迎えた時期で、沿岸部は復旧復興の工事が随所で行われておりました。現在では水産施設や復興道路周辺等のハード面の整備が進み景観もよくなりました。漁業なども着実に本格操業に向かっていと感じています。これからも相馬市の新たなステージである復興創生のお手伝いができれば幸いです。



## 広野町

①宮口 利則 (みやぐち としのり)

②東京都足立区

③こども家庭課 (認定こども園の建設)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤2012年、相馬市で行われた『震災復興支援コンサート』で、いわき市出身のピアニスト長瀬賢弘さんは『…支援とかではない。一緒に前に進む力を分かち合いたい(趣旨)』と挨拶されました。

被災地支援のあり方を考えさせられた出来事でした。

以来、このことが実践できているだろうか、自問自答しながら今日に至っています。

自分の身の丈に合った方法で、細くても長く、被災された方たちと二人称で関わっていけたらと願っています。



①壹岐 将弘 (いき まさひろ)

②宮崎県西都市

③復興企画課 (復興事業にかかわる建設業務等)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤今回、災害派遣の話があり微力ながらも何か出来ることはないかと思い派遣を志願しました。

遠く不慣れた環境で適応できるか不安でしたが、これまで職場の方々に助けられ業務に励んでいます。

復興ゾーンの建設事業を担当していますがやりがいのある仕事で充実した日々を送っています。

広野町復興ゾーンは海風が気持ちよく、住みよい環境です。

よりよい場所に来れるよう残り任期をがんばりたいと思います。



①晝間 芳樹（ひるま よしき）

②埼玉県三郷市

③学校教育課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤福島県には、これまでに数える程度しか足を運んだことがありませんでした。

今回福島県へ着任し、自然や歴史、文化等、福島県の魅力にたくさん触れさせていただき、充実した日々を過ごしています。

広野町では学校教育課に所属していますが、学校教育分野に限らず社会教育の業務にも携わらせていただいております。

これまで経験したことのない業務もあり、戸惑いもありますが、1つ1つ乗り越え、広野町のお役に立てればと思います。



①鈴木 貴久（すずき たかひさ）

②愛知県津島市

③環境防災課（防災に関わる業務等）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤過去に被災地に赴任していた先輩の話聞いて興味を持ち、私も何か役に立てないかと思い志願しました。福島県は自然が豊かで果物等の食べ物がとても美味しいです。防災に関する業務は初めて携わりましたが、職場の方々をはじめ、町民の方々がとても親切に対応してくださるので、日々やりがいと感謝の気持ちを感じながら仕事をしています。広野町の復興・再生に貢献できるように防災の観点から全力を尽くします。



①佐野 明 (さの あきら)

②神奈川県茅ヶ崎市

③町民税務課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤平成29年4月1日土曜日昼過ぎに広野町役場に到着しました。天候はうす曇りだったと思いますが、何故か「ほっとした」気分になったことを覚えています。不安も感じずに来られたのも、事前に伺った際、担当の方とお話をする機会があり、その時の説明がわかりやすく、温かみのある対応が心に残っていたからだと思います。その後、町役場の職員の方をはじめ、町民の方々と接するたびに、福島で仕事ができることに感謝をしています。

①坂井 杏珠美 (さかい あずみ)

②東京都北区

③こども家庭課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤出身が東北なので、東日本大震災発生当時からずっと被災地に特別な思いがあり、派遣を希望しました。

派遣先のこども家庭課では主に保育所や幼稚園の入園に係る事務を行っています。判断に迷う業務もありますが、職場全体で課題を共有・解決していく雰囲気ができているため非常に働きやすいです。

広野町は海も山も一緒に楽しめる贅沢な場所。広野町の魅力を広く発信し、子育て世代に帰還・移住してもらえるように頑張ります。

## 大 熊 町

①坂本 武（さかもと たけし）

②福島県（高知県香美市）

③復興事業課（道路維持工事及び復興拠点整備全般）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤平成26年4月より復興庁（南相馬市役所勤務）で3年間除染業務に就いていました。さらに自分の土木・建設の技術を役立てようと福島県に応募しました。

大熊町はまだまだ困難な状況下にあります。これまでの経験や技術、知見を活かして復旧復興に貢献し、必ず結果と成果を出します。

また余暇を活用して福島の情報発信に努めてまいります。



①杉江 崇（すぎえ たかし）

②茨城県日立市

③復興事業課（新庁舎建設の設計・積算、建築業務全般）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤大熊町への派遣要請の話があり、被災地で少しでも役に立てればと思い志願しました。

現在は、新庁舎建設の基本設計・実施設計策定の業務を主に携わっています。

大熊町職員の方々は親切で明るい職員ばかりで慣れるには時間がかかりませんでした。

大熊町の復興はやっとスタートしたばかりです。そんな大熊町のために微力ながら復興に向けて自分のできることを頑張っていきたいと思っています。



①大橋 孝啓（おおはし たかひろ）

②福島県

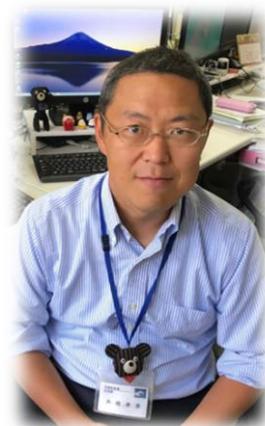
③住民課（住民係）

④平成27年4月1日～平成30年3月31日

⑤大熊町会津若松出張所に派遣され3年目になりました。

大熊町は全町避難が続いていますが、近頃は会津から浜通りに戻る町民も増えました。業務については、着任当初と異なった難しさも感じています。

派遣期間も長くなりましたが、会津は風光明媚な場所が多く、まだまだ訪れてみたいところがあります。残りの派遣期間、会津での生活を楽しまたいと思います。



## 葛尾村

①梅宮 善顕（うめみや よしあき）

②福島県

③地域振興課（道路等の修繕他）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤今年度で任期5年の満期を迎えます。

復興の一助になればと踏ん張ってきました。

うつくしま福島の三泣き、すごいところに来た(泣き)、

うつくしまの人情に泣き、間もなくうつくしま福島を去る時に泣くと思うと……

最愛の恋人「しみちゃん」と仲間と写真撮れたことは

至福の幸せ者です。

ありがとうございます。

がんばっぺ！

ふれーフレー！ うつくしま、ふくしま、かづろー、かつらお



## 檜 葉 町

- ①千葉 雅彦 (ちば まさひこ)
- ②東京都中野区
- ③いわき出張所 (県借上げ住宅業務等)
- ④平成29年4月1日～平成30年3月31日
- ⑤檜葉町いわき出張所に勤務しています。



今年度、中野区では新たに福島県の被災地への支援を決め、私が派遣されることになりました。

私の出身地は、檜葉町と姉妹都市提携を結んでいる会津美里町です。

これもひとつの縁ではないかと思えます。

ふるさと福島県の為に縁を活かしながら支援業務を行っていきたくと考えています。

余暇には、趣味の自転車と温泉を堪能して、ふるさとの魅力を再確認したいと思っています。

- ①小林 紀子 (こばやし のりこ)
- ②福島県 (会津若松市)
- ③いわき出張所 (仮設住宅入居者等の生活再建支援)
- ④平成27年4月1日～平成30年3月31日



- ⑤任期付職員として檜葉町に着任し3年目になりました。

主な業務として、いわき地区の仮設住宅入居者等の生活再建支援を担当しています。

一昨年に避難指示が解除されて以来、檜葉町は新しいまちづくりに向けて大きく動き出しました。

檜葉町の自然や町民の皆さんのあたたかさにふれ、この仕事の意義を強く感じながら日々の業務にあたっています。

これからも町民の皆さんのお手伝い如果可以したいと思います。

①上田 勉 (うえだ つとむ)

②福島県 (東京都葛飾区柴又)

③建設課 (都市計画係：下水道排水設備・浄化槽担当)

④平成28年4月2日～平成30年3月31日

⑤派遣の動機は、福島第一原発の被災地が、どのように復興していくのかについて、思いがあったことです。避難指示が解除された町や村で、どれだけの住民が帰還して、地域が復旧できるのか心配です。地域とは、生業 (なりわい) や衣食住だけではなく、風俗・習慣・信仰・祭り (大好き)・歴史等があつてこそ、地域だと痛感しています。

福島県でやってみたいことは、被災地を巡ることです。名取市閑上地区からいわき市豊間地区まで、車で周りました。福島へ来る友人には、被災地を案内しています。また、「乗り鉄」なので、福島県内の電車は、私鉄を含めて、全線乗りました。



## 川内村

①飯塚 由佳 (いづか ゆか)

②福島県 (岐阜県)

③保健福祉課(母子保健、予防接種)

④平成28年4月1日～平成30年3月31日

⑤福島県に来て2年目になり、50分の車通勤にも慣れてきました。通勤路は新たに道路整備を行っていることもあり、完成した道路を通るのを楽しみにしています。

仕事に関しては前担当者から引き継いだ業務だけでなく、新たに行う事業にも関わらせていただくなど様々な経験をさせていただいています。



## 南相馬市

①岡田 修平（おかだ しゅうへい）

②福島県

③建設部土木課（管理係）

④平成26年4月1日～平成30年3月31日

⑤平成16年中越地震、平成19年中越沖地震、平成23年東日本大震災と三つの地震を体験し、民間企業で三つとも復旧に携わってきました。もう復旧も復興も携わりたくないと思っておりましたところ、平成25年にたまたまJヴィレッジを訪れることがあってみると3年近くになるうとしているのに放射能のために復旧復興がまだまだと感じ、何かできることがあればという思いに至りました。

南相馬市に派遣されて4年目ですが、昨年（平成28年）あたりから目にみえる復興を感じるようになりました。

微力ながら手助けになればと考えております。



①村田 大介（むらた だいすけ）

②千葉県印西市

③健康福祉部長寿福祉課

（入所措置関係、高齢者虐待関係ほか）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤私自身は、平成25年度に引き続き2回目の派遣で、派遣先も前回同様の南相馬市長寿福祉課ということで、2回目はないと勝手に思い込んでいただけに正直驚きました。

前回と業務内容は変わりましたが、今年4月赴任した際も何の違和感なく職場に溶け込むことができました。

前回以上の貢献ができるように微力ながら努めてまいります。

皆様宜しく申し上げます。



①比留間 勇人（ひるま はやと）

②東京都杉並区

③復興企画部被災者支援・定住推進課（移住・定住の推進）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤就職後初めての上司が杉並区⇒南相馬市の派遣経験者だったことがきっかけで、南相馬市⇒杉並区の派遣職員の方と繋がり、実際に南相馬市のイベントに参加するなど縁が出来ました。

暖かく、ほどよくおせっかいで、逆境にも負けない元気を持った人たちのいる南相馬市が好きなので、「だったらいっそ南相馬市で働いちゃえ!」と思い立ち、派遣を志望しました。

「ヨソモノ」目線で南相馬市の良さをPRし、一人でも多く方に知っていただけるよう努力します。



## 富岡町

①横田 雅典（よこた まさのり）

②新潟県柏崎市

③郡山支所住宅支援係

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤東日本大震災とそれに伴う原発事故では、同じ原発立地の柏崎市に避難された、多くの双葉郡の皆さんを受け入れる避難所の開設・運営を担当しました。

定年を迎え、今までの行政経験を活かして役場職員への支援が少しでもできればとの思いから、福島県に来ました。

郡山での生活は、秋から春にかけて加湿器が必須で、雪国では考えられない気候です。

応急仮設住宅に残る入居者の中には、今もって今後のことを考えられない方が多々おられますので、プロパー職員とともにそんな入居者に寄り添い、一緒に考えていきたいと思っています。



①渡部 哲史 (わたなべ さとし)

②東京都品川区

③健康福祉課 (障害福祉業務)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤品川区と富岡町は、オークランド市とそれぞれ国際友好都市であることが縁となり、災害時における相互援助協定を締結しています。

既に応援職員として派遣された、先輩職員の活動報告を目にし、私も復興に貢献できればと思い、派遣を希望しました。

富岡町は今年4月1日より一部地域で避難指示が解除され、復興の新たな段階を向かえました。さらなる躍進へ向け、富岡町職員の方々と一丸となり、富岡町の復興に尽力していく所存です。



①米山 知宏 (よねやま ともひろ)

②埼玉県北葛飾郡杉戸町

③住民課 (避難生活支援係)

④平成28年4月1日～平成30年3月31日

⑤富岡町と杉戸町はソフトテニスを通じて町民の交流が始まり、平成22年11月3日に友好都市となりました。その縁で、震災以降、富岡町に職員を派遣するようになりました。

平成29年4月1日に帰還困難区域を除き、避難指示が解除となり、本当の復興の第一歩を踏み出すこととなり、そのお手伝いが出来ればと派遣期間を延長しました。

まだまだ険しい道が続きますが、全職員が一丸となって頑張っています。

私自身も、富岡町と杉戸町も1日も早く震災以前の町民同士が往来できる関係に戻れるように、微力ですが尽力していきます。



平成 29 年 11 月 発 行

編 集 福 島 県 総 務 部 市 町 村 行 政 課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904